

(資料)

## 今年度の活動日誌

### Report on Activities in 2001

今年度は、以下に記されるように8回の管理運営委員会を開催し、核反応データの収集、入力、管理にあたってきた。

今年度の主な活動として、NRDFデータ入力システムの開発が挙げられる。NRDFデータの採録は次のような発展を経て、このたびの新たなシステムの開発に到った：1) 紙に印刷されたデータ入力フォーマットに手で記入し、それをコンピュータにキーボードから入力する、という段階から、2) それぞれのデータ入力フォーマットが紙に印刷されたものをファイルに登録しておき、パソコンの入力(エディター)システムで呼び出しながらデータを入力する、という段階に発展してきた。1) から2) の発展で、入力コードの入力エラーが大きく減ることになったが、まだ、コードを手で入力するところが多くエラーがゼロになるまでには到らなかった。しかし、このたびの新たな入力システムでは、入力コードをテーブルから選んで入れるだけとなり、エラーが著しくなくなることとなった。また、入力コードを知らなくても、コードの物理的意味が記されたコード表から選ぶだけでよいので、文法やコードについての知識がない実験研究者が自分たちのデータを入力することができることになった。さらに、この新入力システムは、データを入力すると同時にEXFORのコードに変換され、EXFORデータが生成される機能を持っており、これまでの課題を一気に解決してくれるものである。詳しい内容は、本報告書の「ウェブエディタ”HENDEL”を用いた核データ採録入門」に述べられている。

今年度の活動の特徴は、辞書作業部会の活動が定着したことである。すなわち、上で述べた新入力システムの完成で、コードに関する辞書の整備について集中的に議論して問題のあるコードの整備だけでなく、新たなコードや規則(文法)を決めていくことができるようになった。具体的な内容については、「辞書作業部会(NTX-WG)報告」を見ていただきたい。

以下に今年度の管理運営委員会に開催日を一括し、ついで各会議の議事録を記載し、今年度の活動日誌とする。

2001年	5月28~30日	IAEA '2000 NRDC Meeting' (ウィーン)に加藤、千葉、大林が出席
	4月25日	第1回荷電粒子管理運営委員会
	5月21日	第2回荷電粒子管理運営委員会
	6月25日	第3回荷電粒子管理運営委員会
	10月1日	第4回荷電粒子管理運営委員会
	10月29日	第5回荷電粒子管理運営委員会
	11月26日	第6回荷電粒子管理運営委員会
2002年	1月15日	第7回荷電粒子管理運営委員会
	2月25日	第8回荷電粒子管理運営委員会